

## 子供の自主企画応援「いけいけ！みんなまつり」

### 取組の背景・目的

池之端児童館では、子供達の「やってみたい」を形にする場として、月に1度「こども会議」を実施している。ここでは、日常の遊びのルール作りや子供の自主活動の企画を子供達が主体となって話し合い、自主性や仲間意識を育むとともに、自己肯定感を高める機会を作っている。

この会議の集大成とも言える行事が、年に一度の「じどうかんまつり」である。コロナ禍の中止期間を経て再開するにあたり、「自分達で新しいお祭りを作ろう」と名前から考え直し、「みんなで作ってみんなで楽しむ」という意味を込めて、投票の結果「いけいけ！みんなまつり」に決定した。



こども会議の様子

### 取組の概要

「いけいけ！みんなまつり」

【対象】

園児親子以上

【実施日・実施期間】

実施日：令和7年12月26日（金）午後1時半～3時半

【こども会議実施回数】

実施回数：3回

【場所】

児童館館内

【活動内容】

ネイルショップや魚釣り、お化け屋敷などのお店を子供達が運営する。



ネイルショップ



深海魚釣り



お化け屋敷

## 工夫点・留意点

こども会議では、自分の気持ちや考えを自由に出せる場であることを何よりも重視している。職員は、参加している子供達全員に発言を促すと共に、時には、「粘土をこねながら」「行事の様子をビデオで見ながら」など、適度な脱線を許容しながら、和やかな雰囲気作りに留意した。また、「友達の意見を最後まで聞く」というルールを徹底させ、お互いを尊重する姿勢を育んでいる。

特に、実現が難しい提案や斬新な意見が出た場合は、「できない」と否定せず、「どうすれば実現できるか」を子供達に問いかけた。12月の「じどうかんまつり」実施にあたって、子供達からの「夏祭りのようにやりたい」という意見には、オープニングで子供手作りのお神輿を登場させ、館内にも夏を感じさせる装飾を施した。

「少しでも多くの人にお祭りがあることを知って欲しい」との声には、子供達が作った垂れ幕を児童館の外に設置し、誰でも見られるようにした。このように、子供達が知恵を出し合い、納得できる解決策を導き出すことができるよう留意した。



子供達が作った垂れ幕

## 取組の効果

お店やオープニングを担当した子供達からは「自分のやりたいと思っていたことが実現できて嬉しかった」「みんなが喜んでくれて良かった」などの声が聞かれ、仲間との活動や成功体験を通じて相手を思いやる気持ちや達成感を感じる良い機会となった。そして、当日こどもスタッフが頑張っている姿を見た他の子供達にも「自分もやってみたい」という気持ちが芽生え、その後のこども会議への参加や自主活動の興味へと繋がり、新たな自主企画を実施する等の効果があった。お店を担当した子供達は、企画・運営に携わることで、お互いを認め合い、自己肯定感を高める貴重な機会となった。当日は、保護者や地域の方も来館し、児童館で子供達が活躍している姿だけでなく、児童館の活動も知ってもらえる機会となった。。



子供自主企画  
「お魚お絵かき教室」



子供自主企画  
「スピード大会」

## 課題・今後の展開

「いけいけ！みんなまつり」に関しては、毎年子供達の新たな視点で内容が変わっていく為、こども会議を通して意見を聞き取り、子供達が主体的に活動できるように支援していくことが職員の課題である。引き続き、こども会議や日常の関わりを通して子供達のやりたい気持ちに寄り添い、一緒に考え進めていくことで、自主活動へと繋げていく。そうすることで、子供達に「やりたいことを実現することができる」を実感してもらい、自分が考えた企画にみんなが参加し、喜んでくれることで自己肯定感を高める機会を作っていく。